

原子力発電ビジネス 訪中産業技術フォーラム

- 実施レポート -

去る2010年12月12日(日)～2010年12月18日(土)の7日間 一般社団法人日本技術者連盟の企画主催により「原子力発電ビジネス訪中産業技術フォーラム」(以下、訪中フォーラム)を派遣しました。

■訪中フォーラムの概要

1. テーマ : 「原子力発電ビジネス訪中産業技術フォーラム」
2. 期間 : 平成22年12月12日(日)～12月18日(土) 7日間
3. 企画主催 : 一般社団法人日本技術者連盟

4. 団長 : 諸葛 宗男 氏 東京大学公共政策大学院 特任教授
一般社団法人日本技術者連盟 国際原子力発電技術移転機構 委員

副団長 : 戸根 孝義 氏 財団法人発電設備技術検査協会 理事

コーディネータ : 窪田 秀雄 氏 日本テピア(株)テピア総合研究所 副所長

5. 企画実施 : 日本テピア株式会社 日中経済・技術交流センター
6. 総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構
7. 参加人数 : 17名

8. 参加企業・団体名 ※順不同
(社)海外電力調査会、三菱重工業(株)、応用光研工業(株)、前田建設工業(株)
(株)神戸製鋼所、東洋エンジニアリング(株)、(株)ヒロエンジニアリング
検査開発(株)、アネックスリサーチ(株)、グローバル・テクノロジー・デザイン(株)

●フォーラムの目的

中国では原子力発電基本計画と位置付けられている「原子力発電中長期発展計画(2005～2020年)」において2020年の開発目標として掲げられた4000万kWの上方修正が具体化してきました。

一方で、人材の不足や原子力発電設備の製造能力、据付能力、研究開発・設計能力の不足を指摘する声があがってきています。国産化路線を進める中国の原子力産業界の現状はどうなっているのか、日本の原子力産業が中国市場に参入するチャンスはないのでしょうか。

中国の原子力産業のキープレイヤーならびに関連施設を訪問し、同国の原子力開発の現状と見通しを把握するとともに、日本としての協力の可能性について探って参りました。

■ 結団式(2010年12月3日)

都内で訪中フォーラム参加者全員の親睦を深める結団式を開催いたしました。



一般社団法人日本技術者連盟 国際原子力発電技術移転機構の佐々木委員長より乾杯の掛け声をいただき、訪中のムードが一層盛り上がりました。



■フォーラムの様子

【1日目】2010年12月12日(日) 羽田空港出発



【2日目】2010年12月13日(月) →
午前: 国家核電技術公司(北京)
●訪問先概要: 国務院の承認によって
2007年5月に設立された同公司是、
自主ブランドの原子力発電技術
(CAP1400、1700)を開発している。



← 【2日目】2010年12月13日(月)
午後: 中国核電工程有限公司(北京)
●訪問先概要: 原子力発電プロジェクト
の設計から調達、施工、調整・試験ま
でを請け負う設備一括請負方式の採
用にともなって設立された原子力発電
プロジェクト元請け(「総承包」)会社。

【3日目】2010年12月14日

午前: 中国核能行業協會(北京)

●訪問先概要: 約100社の原子力事業者の発起を受け、民生部の承認によって
2007年4月18日に正式に設立。会員数は2010年11月末現在、287に達している。



【3日目】2010年12月14日 →

午後：中国電力工程顧問集团公司（北京）
●訪問先概要：中国を代表する電力コンサルティング会社。独自の設計だけでなく、政府の委託によって各種プロジェクトの審査も行っている。



←【4日目】2010年12月15日

午後：東方電気（成都）

●訪問先概要：大型の水力発電、火力発電、原子力発電、風力発電などの発電設備の開発、設計、製造、販売、設備の供給を行っている。原子力発電設備の一括請負能力を持つことをめざしている。



【5日目】2010年12月16日 →

午前：中国第二重型机械集团公司（徳陽）
●訪問先概要：原子力発電プロジェクトの拡大をにらみ、大型鍛造品の供給拡大をねらっている。



←【6日目】2010年12月17日

午後：中広核工程有限公司（深圳）

●訪問先概要：中国を代表する原子力発電事業者である広東核電集团有限公司傘下のエンジニアリング会社。広東核電のすべての原子力発電プロジェクトの元請を担当している。

【7日目】2010年12月18日 成田着

全行程、天候に恵まれ滞りなく進行することができ、フォーラムは大成功で終わりました。

ご参加いただき、ありがとうございました！